

公表日

令和7年12月20日

事業所名

こばんはうすさくら川崎幸教室

保護者等数(児童数) 32名

回収数 31件(割合97%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3		3	・室内は狭いが川崎では仕方ない。しかし目の前に公園があって良いと思う。	・今後も限られたスペースの中で活動が十分に行えるように工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3		5		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2		5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26		1	4		・清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2		1	・専門性のある支援をしていたとしても親への伝達がわかりにくい。	・保護者様に支援内容が伝わるように伝え方について改善していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	27	1	1	2		・保護者との面談をし、共通理解をした上で、具体的で明確な支援計画となるように努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2		3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2		1	・わからないが個別で親の希望を反映してくれていると思う。	・支援内容の見直しや振り返りも含め、計画に沿った支援が確実に行われるよう取り組んでいきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27			4		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1	3	22	・通所期間がまだ半年のためわからない。別の時期にはあるかもしれない。	・地域の子どもたちとの交流が積極的に行えていないのが現状です。どのような方法があるか検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	2		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	5	17	・個別に聞くと教えてもらえるが新しく問題が起きた時に、親が知らない事を情報提供してもらえると嬉しい。	・研修会の機会がないので会社と相談していきます。必要な情報が提供ができるように常にアンテナを高くしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1			・HUGの本日の様子に写真も載っていると、活動や子供の様子が少しわかるので今後検討してほしい。	・一人ひとりのHUGに写真を載せるることは人貢や時間の関係で難しいですが、SNSや新聞で出来る限り様子をお伝えできるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	5	1	2	・人員配置などにより波があるのである程度安定してほしい。	・定期的に面談や助言等の支援を行っていきます。いつでも相談できる雰囲気づくりに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2		1	・職員による。人員配置などにより波があるのである程度安定してほしい。	・より一層共感的な支援に努めてまいります。そしてそれが保護者様に伝わるように取り組んでいきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	9	15	・通所期間がまだ半年のため、別の時期にはあるのかもしれない。	・保護者会やきょうだい向けイベント等の機会がないので、今後検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2		5	・相談にしっかり対応できる人が少ない。	・職員の連携や研修を強化し、よりよいサポートができるように努めています。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	1		1	・SNSメインではなく配布物やHUGで写真など様子がわかるようにしてほしい。	・一人ひとりのHUGに写真を載せることは人員や時間の関係で難しいですが、SNSや新聞で出来る限り様子をお伝えできるように努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2		3	・避難訓練が実施されていることは知っているが、内容やいろいろなマニュアルに関しては最初の書面だけでしっかりと話をするれているわけではない。	・マニュアル等が保護者様に周知できる方法について検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2		7	・発生したことがない。 ・人員配置などにより波があるのである程度安定してほしい。	・まずは事故が起らないように安全に十分注意していきます。万が一事故が発生した場合には迅速に丁寧に対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30		1		・慣れてきていると思う。	・子どもたちが安心できる居場所だと感じることができ、それがご家族様の安心感にもつながるよう、今後も取り組んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	1	1	・楽しそう。 ・こばんがある日、ない日にかかわらず毎日「こばん、こばん」と言っている。	・今後も個々の特性や成長に応じた療育が提供できるように取り組んでいき、利用者が楽しく通所できるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1	1	1	・まだ子供に変化が見られない ・息子も保護者もとても満足する支援をしていただいている。 ・職員の知識や対応力にムラがある。	・皆様に満足していただける事業所を目指し職員一同取り組んでいきます。

公表日

年 月 日

事業所名

こばんはうすくら川崎幸教室

チェック項目							はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15				・個別課題スペースと遊びのスペースをわけて、活動に応じたスペースを確保している。 ・利用人数の確認を確実に行っている。		・引き続き安全かつ適切な環境設定を心がけていく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15				・子どもの状態や時間帯によって柔軟に対応している。		・送迎に出てしまうと職員が少なくなってしまう時間がある。余裕のある配置ができると良い。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15						・安全・安心に過ごせるようにアンテナを高くして改善していかたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15				・配置の工夫をして空間を確保している。		・今後も衛生面に配慮して、業者に依頼したり常に整理整頓したりしていく。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15				・状況に応じて対応できるようにしている。		・必要な時にすぐ使用できるように整えておく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15						・今後も全職員に共有し、取り組んでいきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				・全職員に評価表を開示し、改善点について話し合っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				・ミーティングや面談の機会を作り職員の意見を吸い上げている。またそれを業務改善につなげられるようミーティングの議題に挙げている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15					・第三者評価の実施について検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15				・教室内や会社で企画する研修に積極的に参加している。		・研修内容を共有し、さらなる職員の資質向上を目指していきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15				・子どもの特性を理解し、適切に支援プログラムが作成され、保護者様と共有している。		・よりプログラムの適正化を図るためにフィードバックを行なながら充実させていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15				・児発管が定期的に面談して支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15				・児発管が面談した内容をもとにカンファレンスを行い職員の意見を聞きながら作成した支援計画を全職員が確認できるようになっている。		・より多くの意見を出し合う機会を作っていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15				・全職員が支援計画に目を通して共有できるようになっている。共有が不十分な際はさらにミーティング等で再確認を行い計画に沿った支援が行われるようにしている。		・計画に沿った支援ができるように日頃から職員間のコミュニケーションを円滑にしていくよう心掛けていく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15				・フォーマルなアセスメントを参考にしながら、行動観察を行い状況確認している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15				・具体的で明確な支援内容の設定を心がけている。日々の子どもの様子を見ながら、適正な支援内容になるように、必要な場合は見直しも行っている。		・設定された支援内容が本人や家族と共通理解の上ですすめられるように、的確にお伝えできるようにしていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15				・定期的に職員でアイデアを共有する機会を設け、子どもたちにあったプログラムを立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15				・職員が各自の経験や情報を持ち寄ることで多様なプログラムが実施できるようにしている。			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15				・組み合わせて支援している。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15				・朝と昼にミーティングを行い、支援内容や役割分担の確認を確実に行っている。不明点等も出し合っている。		・職員間でコミュニケーションを取り合い、チーム支援の士気を高めていきたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15				・支援の振り返りを業務日報に記入することで共有している。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15				・記録をとり、支援につなげている。		・記録をとる視点や記録をもとに改善点を見出せるようにしていきたい。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		・児発管が定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。 ・見直しの内容を職員に伝達している。	・見直しの内容が確実に全職員に周知できるようにしていきたい。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			・新規職員にも伝えて活動できるようにしていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		・保育園や幼稚園を参観する機会を作り、情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		・保護者様から依頼がある場合には行なっている。	・スムーズな就学となるように、情報共有と相互理解を積極的にすすめていきたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15		・療育センターへの訪問など、助言・指導をいただく機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		15		・現在交流はできていない。今後交流できる機会を探っていきたい。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		・HUGや電話での連絡や、送迎時などに様子を伝えるなど、日頃から情報共有・共通理解ができるように心がけている。	・相談しやすい雰囲気作りや、日頃の保護者様とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		15		・現在実施はできていない。今後検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		・契約時に丁寧に説明をし、不明点がないように心がけている。	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		・面談を通して本人や保護者様の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		・書面で説明を行い、保護者様から直接サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		・相談があった場合には、期を逃さずその都度応じ、支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		15		・保護者様の声を聞きながら検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		・苦情があった場合には管理者を中心に迅速で適切な対応をしている。	・確実に全職員に周知できるようにしたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		・毎日のSNS、毎月の新聞などで活動の様子等を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		・鍵付きの書庫に管理している。	・SNS発信の際、個人情報については十分注意していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		・定期的な面談の他に送迎時に様子をお伝えするなど意思疎通や情報伝達に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		15		・地域の方との交流ができるように検討していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		・マニュアルを策定し、研修を行っている。	・ご家族への周知の方法について検討していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		・毎月避難訓練を実施している。	・さまざまな災害に対応できるように、より多様な状況を想定し、訓練を重ねていきたい。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15		・保護者様と現在の状況について情報共有し、適切な対応ができるようにしている。 ・全職員に確実に周知できるようにしたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		・提供するおやつについて保護者と情報共有し、持ち込み等で対応している。 ・食べる際他のお子さんと席を離している。 ・全職員が確実に対応できるように周知を徹底する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		・安全計画に基づいて点検や訓練、安全についての研修を行っている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15		・取組について確実に周知できるようにその方法や時期を検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		・ヒヤリハット事業を全職員に周知し、再発防止策について検討をしている。 ・再発防止策について検討後、迅速に実行できるように心がけていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		・虐待防止の研修を全職員が実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15		・保護者に了解を得て、計画に記載している。